

第1期一宮町総合戦略評価書：個票1
一宮版サーフオノミクス5つの柱

①一宮サーフストリート構想

総合定性評価	C
--------	---

総合定量評価	D
--------	---

基準日：令和3年3月31日

取り組み策	総合戦略策定時の取組予定内容	取組み結果	定性評価	重要業績評価指標(KPI)					
				評価指標	計画時現状値	計画策定時目標値(H31)	再目標値	実績値(R3)	定量評価(R3)
①一宮サーフィンセンター設置	・官民連携でサーフィンセンターを設置し、女性や子どもへのサービス向上を図ります。また、海の安全情報の発信、町内観光情報、飲食店情報の提供を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・サーフオノミクス調査事業（サーファーの経済効果の分析） ・H29年観光サーフィン体験事業実施。 ・オリンピックサーフィン競技大会会場である釣ヶ崎海岸で開催された国内最大級のサーフィン大会「QS6000」への補助。（大会運営・シンポジウム） ・一宮海岸駐車場にシャワーを設置。 ・H30にJR上総一宮駅前に人々が集まる新しい交流の場としてポップアップギャラリーを期間限定でオープン。 ・オリンピックサーフィン競技大会開催決定を契機に、釣ヶ崎海岸に施設を設置。 ・官民連携によるまちづくり会社「(株)一宮リアライズ」を設立。市街地調査、空き家リノベーション事業としてSUZUMINEを実践。お試し住宅については基本構想をたてモニタリングハウスの予定地測量まで実践。 	D	サーファー客数	585,200人	700,000人	700,000人	708,940人	A
②子供向けサーフィン教室	・プロサーファーのライフガードによる小学生を対象としたサーフィン教室を実施。		B	海水浴客数	25,036人	30,000人	20,000人	0人	D (コロナにより未開設)
③サーフストリートから駅周辺地域への誘導	・商店街の店舗の業態転換や、経営主の変更を促進し、魅力的な商業地域を推進することで、冬場の観光客の減少を克服します。		D	サーフィンセンター年間利用客数	0人	70,000人(設置後)	0人	0人	D
④まちづくり会社の設置	・官民連携でまちづくり会社を設立し、地域課題解決に向けた事業を行うことで、新規事業や雇用を確保します。		C	モニタリングハウス設置件数	0件	4件	0人	0件	D
⑤モニタリングハウスの設置	移住者向けモニタリングハウスを建設し、多くの人に本町の住環境の良さを体験してもらうことで、本町への移住を促進します。		D						

定性評価の四段階の目安

- A：計画以上に進捗しており、継続して推進する
- B：ほぼ計画通り進捗しており、このまま継続して推進する
- C：目標をやや下回る見込みであり、要因の分析と見直しの要否を検討する
- D：目標を大きく下回る見込みであり、要因の分析と見直しを要する

定量評価の四段階の目安

- A：達成済みもしくは順調であれば達成する可能性が高い。（達成率80%以上）
- B：最終的に達成するか不明であるが、順調に数値としての成果が上がってきている。（達成率50%～80%）
- C：目標年次のデータは未確定であるものの、このままだと達成する見込みが薄い。（達成率50%未満）
- D：目標年次の目標値に対して未達成である。